

萬運輸、デザイン車運行

「運転者の子の絵」塗装

家族の力でイメージ向上



【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は10月から、ドライバーの子供が描いた絵を車体にプ

リントしたデザイントラックの運行を始めた。自分の子の絵を車体に描くことで、父親であるドライバー

の安全意識を高めるとともに、トラック業界のイメージアップを図る。小山営業所（栃木県小山市）の大型ウイング車1台にプリントを施した。同営業所所属の3年間無事故・無違反のドライバーの専属車で、新車への代替を機にドライバーの3人の子供が描いた絵をプリントした。

安全意識を高めるとともに、トラック業界をイメージアップ

顔絵、トラックの絵、運転マナー向上を呼び掛けるものなど様々だ。

同社グループの

の安全意識を高めるとともに、トラック業界のイメージアップを図る。小山営業所（栃木県小山市）の大型ウイング車1台にプリントを施した。同営業所所属の3年間無事故・無違反のドライバーの専属車で、新車への代替を機にドライバーの3人の子供が描いた絵をプリントした。

顔絵、トラックの絵、運転マナー向上を呼び掛けるものなど様々だ。東海林社長は「家族の力を借りて、企業イメージ向上や地域貢献を実現したい。ドライバーにも『デザイントラックを運転する自分分は、安全ドライバーである』というステータスを持つてもらえれば」と話している。

自動車整備会社が保有するオートボディープリンターを使って塗装。ラッピングよりも低コスト・短工期で塗装でき、何度も書き替えができるのが特徴だ。

「子供の書いた絵をプリントすれば、パパは危険な運転をしなくなる」との発想に基づき始めたもので、優良ドライバーには好きなデザインを車体に施せるようにする予定。安全意識向上とともに、トラック業界のイメージアップとトラックに対する親近感を高める狙いもある。